

I. 著書

(共著)

- 1) 狩野裕・三浦麻子 (2002). グラフィカル多変量解析(増補版) 現代数学社.
- 2) 山下清美・川浦康至・川上善郎・三浦麻子 (2005). ウェブログの心理学 NTT出版.
- 3) 三浦麻子・森尾博昭・川浦康至(編著) (2009). インターネット心理学のフロンティア 誠信書房.
- 4) 松村真宏・三浦麻子 (2009). 人文・社会科学のためのテキストマイニング 誠信書房.

(分担執筆)

- 1) 三浦麻子 (2006). 因果関係をモデリングするー共分散構造分析 吉田寿夫(編著) 心理学研究法の新しいかたち 誠信書房 pp. 85-113.
- 2) 三浦麻子 (2008). インターネット革命: 私たちのコミュニケーションを変えたもの 橋元良明(編著) メディア・コミュニケーション学 大修館書店 pp. 85-102.
- 3) 三浦麻子 (2008). ヴァーチャル・コミュニティ 橋元良明(編著) メディア・コミュニケーション学 大修館書店 pp. 180-196.
- 4) 三浦麻子 (2009) ネット社会の人間関係 西垣悦代(編著) 発達・社会からみる人間関係: 現代に生きる青年のために 北大路書房 pp. 153-168.
- 5) 三浦麻子 (2009). ネットコミュニティの社会心理学. 2010ネットコミュニティ白書 メディアクリエイト pp. 118-124.
- 6) 三浦麻子 (2010). 因子分析 川端亮(編) データアーカイブSRDQで学ぶ社会調査の計量分析 ミネルヴァ書房 pp. 109-125.
- 7) 三浦麻子 (2010). 電子メディアのコミュニケーション. コミュニケーションと対人関係(展望 現代の社会心理学2) 誠信書房 pp.20-36.

II. 査読つき学術論文

- 1) 篠原一光・三浦麻子 (1999). WWW掲示板を用いた電子コミュニティ形成過程に関する研究 社会心理学研究, 14(3),144-154.
- 2) 三浦麻子 (2001). ブレインストーミングにおけるコミュニケーション・モードと目標設定の効果 対人社会心理学研究, 1, 45-57.
- 3) 三浦麻子 (2001). コンピュータ・ネットワークを利用したアイデア創出に関する実験的研究ー匿名性と目標設定の効果ー 産業・組織心理学研究, 14(2), 1-14.
- 4) 三浦麻子・藤原伸彦 (2001). WWWにおける情報検索に関する実験的研究 教育システム情報学会誌, 18(1), 121-128
- 5) 三浦麻子・篠原一光 (2001). CMCにおける状況の認知と情報発信行動 応用心理学研究, 27(1), 25-35.
- 6) 三浦麻子・飛田操 (2002). 集団が創造的であるためにはー集団創造性に対する成員のアイデアの多様性と類似性の影響ー 実験社会心理学研究, 41(2), 124-136.
- 7) 三浦麻子・篠原一光 (2002). チャット・コミュニケーションに関する心理学的研究ーログ記録の解析にもとづく探索的検討ー 対人社会心理学研究, 2, 25-34.
- 8) 畦地真太郎・三浦麻子・篠原一光・町田佳世子 (2003). e-learningにおけるデジタル・アウェアネスの効果 教育システム情報学会誌, 20(2), 227-233.
- 9) Fujihara, N. & Miura, A. (2003). Patterns of searching for information on the World Wide Web: A pilot study. Psychological Reports, 92, 1091-1096.
- 10) Miura, A. (2003). Effects of communication medium and goal setting on group brainstorming. In K-S. Yang, K-K. Hwang, P. B. Pedersen, I. Daibo (Eds.), *Progress in Asian Social Psychology (vol. 3): Conceptual and Empirical Contributions*. London, UK:
- 11) 三浦麻子・藤原伸彦 (2003). 情報を「攪拌」するグループウェアを用いた集団アイデア創出活動 教育システム情報学会誌, 20(2), 170-178.
- 12) 松村真宏・三浦麻子・柴内康文・大澤幸生・石塚満 (2004). 2ちゃんねるが盛り上がるダイナミズム 情報処理学会論文誌, 45(3), 1053-1061.
- 13) Miura, A. & Hida, M. (2004). Synergy between diversity and similarity in group-idea generation. *Small Group Research*, 35(5), 540-564.
- 14) Matsumura, N., Miura, A., Shibana, Y., Ohsawa, Y., & Nishida, T. (2005). The dynamism of 2channel. *Journal of AI & Society*, 19(1), 84-92.
- 15) Miura, A & Shinohara, K. (2005). Social intelligence design in online chat communication: A psychological study on congestion effects. *Journal of AI & Society*, 19(1), 93-109.
- 16) Miura, A., Fujihara, N., & Yamashita, Koji (2006). Retrieving information on the World Wide Web: Effects of domain specific knowledge. *Journal of AI & Society*, 20(2), 221-231.
- 17) 三浦麻子・篠原一光 (2006). チャットにおける輻輳状況が発話行動に与える影響ー単一話題に関して複数会話が同時並行する場合ー ヒューマンインタフェース学会論文誌, 8(1), 41-48.
- 18) Miura, A. & Yamashita, Kiyomi (2007). Psychological and social influences on weblog writing: An online survey of weblog authors in Japan. *Journal of Computer-Mediated Communication*, 12(4), 1452-1471.
- 19) Miura, A. (2007). Can weblogs cause the emergence of social intelligence?: Causal model of intention to continue publishing weblog. *Journal of AI & Society*, 22(2), 237-251.

- 20) 森尾博昭・畦地真太郎・三浦麻子 (2007). CSCLシステム『KNITS』の改良の試み：認知的負荷の視点から 教育システム情報学会誌, **24**(3), 196-201.
- 21) 三浦麻子・川浦康至 (2008). 人はなぜ知識共有コミュニティに参加するのか：質問行動と回答行動の分析 社会心理学研究, **23**(3), 233-245.
- 22) 三浦麻子・川浦康至・新井田統 (2008). 対人コミュニケーションにおける画像情報の役割：カメラ付き携帯電話によるフィールド実験 対人社会心理学研究, **8**, 7-15.
- 23) 三浦麻子・松村真宏・北山聡 (2008). ブログにおける作者の指向性と内容・コミュニケーションとの関連 心理学研究, **78**(5), 446-452.
- 24) 三浦麻子・川浦康至 (2009). 内容分析による知識共有コミュニティの分析：投稿内容とコミュニティ観から, 社会心理学研究, **25**(2), 153-160.

Ⅲ. 査読なし学術論文

(依頼論文・閲読あり)

- 1) 三浦麻子 (2003). ネットワーク・コミュニケーションの諸相—コミュニケーションの特徴とさまざまな利用形態— シミュレーション&ゲーミング, **13**(1), 44-55.
- 2) 三浦麻子 (2005). AI研究における評価のための実践的Tips：研究計画から分析まで(1) 概論：心理学的評価のための基本的視座 人工知能学会誌, **20**(6), 723-730.
- 3) 三浦麻子 (2006). AI研究における評価のための実践的Tips：研究計画から分析まで(2) 技法1：実験による評価 人工知能学会誌, **21**(1), 102-110.
- 4) 三浦麻子 (2006). AI研究における評価のための実践的Tips：研究計画から分析まで(3) 技法2：調査による評価 人工知能学会誌, **21**(2), 225-233.
- 5) 三浦麻子 (2006). AI研究における評価のための実践的Tips：研究計画から分析まで(4) 分析1：実験データの分析 人工知能学会誌, **21**(4), 480-489.
- 6) 三浦麻子 (2006). AI研究における評価のための実践的Tips：研究計画から分析まで(5) 分析2：調査データの分析 人工知能学会誌, **21**(5), 620-629.
- 7) 三浦麻子 (2006). AI研究における評価のための実践的Tips：研究計画から分析まで(6) 演習：よりよい評価研究を目指して 人工知能学会誌, **21**(6), 739-746.
- 8) 三浦麻子 (2007). チュートリアル疑問編：連載記事に関するQ&A 人工知能学会誌, **22**(3), 419-424.
- 9) Miura, A., Kawaura, Y., Jifuku, S., Otaki, N., & Okamoto, M. (2007). People who create knowledge sharing communities. In T. Washio et al. (Eds.) *New Frontiers in Artificial Intelligence (Lecture Notes in Computer Science)*. Springer. Pp.88-98.
- 10) 三浦麻子 (2008). ネットコミュニティでの自己表現と他者との交流 電子情報通信学会誌, **91**(2), 137-141.
- 11) Miura, A. & Matsumura, N. (2009). Social intelligence design: A junction between engineering and social sciences (Editorial for special issue). *AI & Society*, **23**(2), 139-145.
- 12) 山口勲・小口孝司・三浦麻子・永田良昭・吉田寿夫・大坊郁夫 (2010). 歴史を踏まえ、この先に生きる社会心理学研究の展開を目指すためになにをなすべきか 対人社会心理学研究, **10**, 1-32.

(紀要・報告書等)

- 1) 三浦麻子 (1996). 課題遂行におよぼす目標設定と自律性の効果 大阪大学人間科学部紀要, **22**, 111-132.
- 2) 三浦麻子・篠原一光 (1997). インターネットにおけるCMC (Computer-Mediated Communication)に関する基礎的研究—WWWを用いた質問紙調査の実際— 大阪大学人間科学部紀要, **23**, 89-110.
- 3) 山下清美・三浦麻子・杉本卓・野村一夫 (1997). インターネットにおけるコミュニケーションは、そこに集まる人々にとってどのような意味を持つのか 情報処理学会研究報告(97-HI-73), 49-54.
- 4) 三浦麻子 (1999). 電子ネットワークにおけるコミュニティ形成に関する実験的研究 電気通信普及財団研究調査報告書, **13**, 300-313.
- 5) 福原知宏・松村憲一・畦地真太郎・三浦麻子・藤原伸彦・西田豊明 (2001). Public Opinion Channel: コミュニティのためのインタラクティブ放送システム 信学技報(HCS2001-11-17), 25-32.
- 6) 飛田 操・三浦 麻子 (2003). 集団の創造的活動における創発性—社会心理学的観点から 福島大学教育学部論集(教育・心理部門), **75**, 11-22.
- 7) 三浦麻子 (2004). 集団の創造的活動に関する実験社会心理学的研究 人間科学研究, **5**, 31-44.
- 8) 三浦麻子 (2004). 同期的オンラインコミュニケーションにおける情報処理と対人認知に関する実験的研究 立石科学技術振興財団助成研究成果集, **13**, 84-87.
- 9) 森尾博昭・畦地真太郎・三浦麻子 (2005). ダイナミック社会的インパクト理論を応用したコンピュータによる協調学習支援システム『KNITS』の実践と評価の試み, 平成17年度松下教育助成成果報告書, pp. 200-210.

Ⅳ. 学会発表

(国際会議・査読つき)

- 1) Miura, A. & Fujihara, N. (2000). Experimental study of searching strategy on World Wide Web. XXVII International Congress of Psychology (International Journal of Psychology, Abstracts of the XXVII International Congress of Psychology, 35(3/4), 84).
- 2) Matsumura, N., Miura, A., Shibana, Y., & Ohsawa, Y. (2003). The dynamism of online community. Paper presented at the 3rd International Workshop on Chance Discovery and Its Management *Proceedings of A Full-day Workshop in HCI International 2003, Crete, Greece*, pp. 69-77).
- 3) Matsumura, N., Miura, A., Shibana, Y., Ohsawa, Y., & Nishida, T. (2003). The dynamism of 2channel. Paper presented at the 2nd International Workshop of Social Intelligence Design. Royal Holloway, University of London, Egham, Surrey, UK (Proceedings CD-rom).
- 4) Miura, A & Shinohara, K. (2003). Social intelligence design in online chat communication: A psychological study on congestion effects. Paper presented at the 2nd International Workshop of Social Intelligence Design. Royal Holloway, University of London, Egham, Surrey, UK (Proceedings CD-ROM).

- 5) Miura, A., Fujihara, N., and Yamashita, Koji (2004). Retrieving information on the World Wide Web: Effects of domain specific knowledge. *Proceedings of the 3rd workshop on Social Intelligence Design (SID2004)*, pp. 91-99.
- 6) Miura, A. & Yamashita, Kiyomi (2004). Why do people publish weblogs? An online survey of weblog authors in Japan. Paper presented at Psychology & IT 2004, Parador Hotel Atlantico, Cadiz, Spain (In K. Morgan, J. Sanchez, C. A. Brebbia, & A. Voiskounsky (Eds.), *Human Perspectives in the Internet Society: Culture, Psychology and Gender*. Southampton, UK: WIT Press.
- 7) Miura, A. (2005). Can weblogs cause the emergence of social intelligence? : An online survey of weblog authors in Japan. Paper presented at the 4th International Workshop of Social Intelligence Design. Stanford University, California, USA (Proceedings CD-
- 8) Miura, A. & Kawaura, Y. (2007). A field experiment in camera phone usage and interpersonal relationship. Paper presented at the 7th Conference of Asian Association of Social Psychology, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia (Proceedings CD-ROM).
- 9) Miura, A. & Kawaura, Y. (2009). Helping behavior in Cyberspace. Paper presented at the 6th Biennial Conference of International Academy of Intercultural Research, University of Hawai'i at Manoa, Honolulu, HI *Book of Abstracts*, p. 44).

(国内学会)

- 1) 三浦麻子 (1992). 企業組織の研究・開発職の専門性と働きがい 産業・組織心理学会第8回大会大会論文集, 52-54.
- 2) 三浦麻子 (1994). 小集団の創造性課題遂行に関する実験的研究(1) 日本心理学会第58回大会発表論文集, 157.
- 3) 三浦麻子 (1994). 小集団の創造性課題遂行に関する実験的研究(2) 日本社会心理学会第35回大会発表論文集, 352-353.
- 4) 三浦麻子・山下京・八木隆一郎 (1994). 研究・開発職の働きがいと職務の自律性 産業・組織心理学会第10回大会大会論文集, 41-43.
- 5) 三浦麻子 (1995). 目標コミットメントの測定方法に関する問題 日本社会心理学会第36回大会発表論文集, 102-103.
- 6) 三浦麻子 (1995). 目標コミットメントとパフォーマンスの関係に及ぼす自律性の効果 日本心理学会第59回大会発表論文集, 197.
- 7) 三浦麻子・篠原一光 (1996). WWWを利用した質問紙調査の可能性(1) 日本心理学会第60回大会発表論文集, 93.
- 8) 三浦麻子・篠原一光 (1996). WWWを利用した質問紙調査の可能性(2) 日本社会心理学会第37回大会発表論文集, 134-135.
- 9) 三浦麻子 (1997). インターネットって何をするといい?何ができるところ? 日本社会心理学会第38回大会発表論文集, 280-281.
- 10) 飛田 操・三浦 麻子 (1998). 集団目標とグループの創造性 日本グループ・ダイナミクス学会第46回大会発表論文集, 98-99.
- 11) 三浦麻子・飛田操 (1998). 親密性と目標コミットメントが集団の創造性活動に及ぼす影響 日本グループ・ダイナミクス学会第46回大会発表論文集, 100-101.
- 12) 三浦麻子・篠原一光 (1998). WWW掲示板を用いた電子コミュニティ形成過程に関する研究(2) 日本社会心理学会第39回大会発表論文集, 118-119.
- 13) 藤原伸彦・三浦麻子 (1999). WWWでの情報検索プロセスの検討(2) 日本心理学会第63回大会発表論文集, 445.
- 14) 三浦麻子・藤原伸彦 (1999). WWWでの情報検索プロセスの検討(1) 日本心理学会第63回大会発表論文集, 444.
- 15) 三浦麻子・飛田操 (1999). 集団の創造性に及ぼす成員の異質性と報酬の効果 日本グループ・ダイナミクス学会第47回大会発表論文集, 92-93.
- 16) 三浦麻子 (2000). コンピュータ・ネットワークを利用したアイデア創出に関する実験的研究 日本社会心理学会第41回大会発表論文集, 524-525.
- 17) 三浦麻子・飛田操 (2000). creative potentialが集団創発性におよぼす影響 日本グループ・ダイナミクス学会第48回大会発表論文集, 158-159.
- 18) 畦地真太郎・福原知宏・藤原伸彦・松村憲一・寺田和憲・久保田秀和・三浦麻子・矢野博之・西田豊明 (2001). パブリック・オピニオン・チャンネル実用化と心理学的評価の試みー人工知能学会第15回全国大会口頭発表(論文集)
- 19) 三浦麻子・藤原伸彦 (2001). 集団の創造的活動支援に関する社会心理学的研究 人工知能学会第15回全国大会(論文集CD-ROM)
- 20) 三浦麻子・飛田操 (2001). 集団創造性における集団の多様性と類似性の影響 日本心理学会第65回大会発表論文集, 794.
- 21) 三浦麻子・篠原一光 (2002). チャット・コミュニケーションに関する心理学的研究ーログ記録の解析にもとづく探索的検討ー 日本心理学会第66回大会発表論文集, 177.
- 22) 三浦麻子・篠原一光 (2002). チャット場面における話題の輻輳がコミュニケーションに及ぼす影響 日本社会心理学会発表論文集, 188-189.
- 23) 松村真宏・三浦麻子・柴内康文・大澤幸生・石塚満 (2003). 2ちゃんねるが盛り上がるメカニズムの解明 情報処理学会第65回全国大会(論文集CD-ROM)
- 24) 松村真宏・三浦麻子・柴内康文・大澤幸生・石塚満 (2003). 2ちゃんねるが盛り上がるメカニズムの解明 日本グループ・ダイナミクス学会第50回大会発表論文集, 272-273.
- 25) 三浦麻子・飛田操 (2003). 集団創造性におよぼすメンバーの多様性と類似性の相乗効果 日本社会心理学会第44回大会発表論文集, 208-209.
- 26) 三浦麻子・飛田操 (2004). 集団創造性におよぼすメンバーの多様性と類似性の相乗効果ーメンバーの多様性への注目とパフォーマンスの関連についてー 日本グループ・ダイナミクス学会第51回大会発表論文集, 108-109.
- 27) 三浦麻子・山下清美 (2004). 人はなぜウェブ日記・ウェブログを書き続けるのか(1) 日本社会心理学会第45回大会発表論文集, 676-677.

- 28) 森尾博昭・畦地真太郎・三浦麻子 (2004). 非同期型CSCLシステムKNITSによるオンライン意見交換と相互評価の試み 教育システム情報学会第29回全国大会講演論文集, 253-254.
- 29) 山下清美・三浦麻子 (2004). 人はなぜウェブ日記・ウェブログを書き続けるのか(2) 日本社会心理学会第45回大会発表論文集, 694-695.
- 30) 金政祐司・三浦麻子・谷口淳一・小林知博・清水裕士・石盛真徳 (2005). ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(2)ー愛情の3要素とコミュニケーション態度が夫婦関係の満足度に及ぼす影響ー 日本心理学会第69回大会発表論文集,
- 31) 川浦康至・山下清美・三浦麻子 (2005). 人はなぜウェブログを書き続けるのか(5)ー作者の志向から 日本心理学会第69回大会発表論文集, 268.
- 32) 小林知博・谷口淳一・清水裕士・石盛真徳・金政祐司・三浦麻子 (2005). ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(3)ー夫婦間の自己呈示と夫婦関係の満足度の関連性ー 日本心理学会第69回大会発表論文集, 144.
- 33) 松村真宏・三浦麻子 (2005). ブログにおける書き手の意図とモダリティ表現 第19回人工知能学会全国大会 (<http://www-kasm.nii.ac.jp/jsai2005/schedule/pdf/000133.pdf>).
- 34) 三浦麻子 (2005). 社会心理学的観点から見た集団の創発性ーアイデアの多様性と類似性の相乗効果モデルの実験的検証ー 第四回シナリオ創発ワークショップ予稿集, 21-26.
- 35) 三浦麻子・北山聡 (2005). ウェブログ読者にとってウェブログとは何かー「Doblog」利用者の意識調査結果から 日本社会心理学会第46回大会発表論文集, 478-479.
- 36) 三浦麻子・山下清美・川浦康至 (2005). 人はなぜウェブログを書き続けるのか(4)ー継続意思に関する因果モデルの検討 日本心理学会第69回大会発表論文集, 267.
- 37) 清水裕士・石盛真徳・金政祐司・三浦麻子・谷口淳一・小林知博 (2005). ペアデータに基づく熟年夫婦の研究(1)ー夫婦のコミュニケーションパターンと関係性の関連ー 日本心理学会第69回大会発表論文集, 142.
- 38) 山下清美・三浦麻子・川浦康至 (2005). 人はなぜウェブログを書き続けるのか(3)ーウェブログのタイプ, スタイルと書き手の意識の関係 日本心理学会第69回大会発表論文集, 266.
- 39) 川浦康至・三浦麻子・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(2) 日本社会心理学会第47回大会発表論文集, 496-497.
- 40) 松村真宏・三浦麻子 (2006). Doblogの利用に関するアンケート調査からみたユーザ像 人工知能学会第20回全国大会 (URL: <http://www.jaist.ac.jp/jsai2006/program/pdf/100178.pdf>).
- 41) 三浦麻子・金政祐司・谷口淳一・小林知博 (2006). ペアデータに基づく未婚カップルの研究(2)ー愛情の3要素とコミュニケーション態度が未婚カップルの満足度に及ぼす影響 日本心理学会第70回大会発表論文集, 256.
- 42) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち 人工知能学会第20回全国大会 (URL: <http://www.jaist.ac.jp/jsai2006/program/pdf/100163.pdf>).
- 43) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(3) 日本社会心理学会第47回大会発表論文集, 498-499.
- 44) 谷口淳一・小林知博・三浦麻子・金政祐司 (2006). ペアデータに基づく未婚カップルの研究(1)ー未婚カップル間の自己呈示と相手への自己評価, 及び関係満足度の関連性 日本心理学会第70回大会発表論文集, 255.
- 45) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2006). 知識共有コミュニティを創り出す人たち 人工知能学会第20回全国大会 (URL: <http://www.jaist.ac.jp/jsai2006/program/pdf/100163.pdf>).
- 46) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2007). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(4) 人工知能学会第21回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2007/data/pdf/100292.pdf>).
- 47) 松村真宏・三浦麻子 (2007). ブログ記事における男女別・年代別・地域別傾向の分析 人工知能学会第21回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2007/data/pdf/100218.pdf>).
- 48) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2007). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(4) 人工知能学会第21回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2007/data/pdf/100292.pdf>).
- 49) 三浦麻子・山下耕二・藤原伸彦 (2007). サーチエンジンを利用した情報検索行動ー単独場面と協調場面の比較 日本心理学会第71回大会発表論文集, 549.
- 50) 藤原伸彦・三浦麻子・山下耕二 (2007). 眼球運動を指標としたWeb検索プロセスの検証 教育システム情報学会第32回全国大会講演論文集, 422-423.
- 51) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大瀧直子・岡本真 (2007). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(5)ー継続的/積極的参加者の特徴 日本社会心理学会第48回大会発表論文集, 380-381.
- 52) 市瀬龍太郎・山川宏・庄司裕子・三浦麻子 (2007). シミュレーション世界における行為者の模倣エージェントの作成と知識獲得支援 Joint Agent Workshops and Symposium 2007 (JAWS2007) (URL: <http://www-al.is.kyushu-u.ac.jp/jaws2007/program.html#Discussion-Knowledge>).
- 53) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大川英哉・竹内美尋・岡本真 (2008). モバイル化で知識共有コミュニティは変容するのか 人工知能学会第22回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2008/program/pdf/100216.pdf>).
- 54) 市瀬龍太郎・庄司裕子・山川宏・三浦麻子 (2008). 学習者モデリング技術を用いたゲーム型教育システムのための研究プラットフォームの構築 人工知能学会第22回全国大会 (URL: <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/conf/2008/program/pdf/100216.pdf>).
- 55) 三浦麻子・大賀暁・土井伸一・山田敬嗣 (2008). 対人コミュニケーションにおけるメディア選択ー大規模Web調査データにもとづく検討 日本グループ・ダイナミックス学会第55回大会(P1-13).
- 56) 三浦麻子・大賀暁・土井伸一・山田敬嗣 (2008). 対人コミュニケーションにおけるメディア選好と個人特性 日本心理学会第72回大会(2AM160).
- 57) 三浦麻子・川浦康至・地福節子・大川英哉・竹内美尋・岡本真 (2008). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(6)ー第2回調査データの分析: 仮説モデルの検証に向けて 日本社会心理学会第49回大会(P06-7).
- 58) 三浦麻子・川浦康至 (2009). 知識共有コミュニティを創り出す人たち(7) 回答投稿という援助行動を支える心理的過程 日本心理学会第73回大会(1EV003).
- 59) 楠見孝・三浦麻子・小倉加奈代 (2009). がん・アトピー性皮膚炎患者・家族のインターネット行動(1): 批判的思考が情報信頼性評価と病気への適応に及ぼす効果 日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会 合同大会(S18-03).

- 60) 三浦麻子・楠見孝・小倉加奈代 (2009). がん・アトピー性皮膚炎患者・家族のインターネット行動(2)：インターネット上の情報への期待に関するテキストマイニングによる検討 日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会 合同大会(S18-04).
- 61) 小倉加奈代・楠見孝・三浦麻子 (2009). オンライン仮想空間を利用したがん患者のコミュニティ形成：発言行動分析に基づいたコミュニティ成熟度の検討 日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会 合同大会(S18-05).
- 62) 大槻一貴・三浦麻子・大坊郁夫 (2009). 2者間対話場面における話題と聞き手の姿勢が話者に与える影響 日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会 合同大会(P05-50).

V. その他(翻訳、事典、辞書など)

(共訳)

- 1) Chemers, M. M. (1997). *An integrative theory of leadership*. Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates, Inc. (チェマーズ M. M. 白樫三四郎(訳編) (1999). リーダーシップの統合理論 北大路書房(翻訳担当第5章『交流理論と交換理論』, pp. 84-108.))
- 2) Sternberg, R. J. (Ed.) (1997). *Teaching introductory psychology: Survival tips from the experts*. Washington DC: American Psychological Association. (スタンバーグ R. J. 宮元博章・道田泰司(編訳) (2000). アメリカの心理学者 心理学教育を語る 北大路書房(翻訳担当第8章『効果的な教師になるためのモデル』, pp. 154-174.))
- 3) Joinson, A. N. (2003). *Understanding the psychology of Internet behaviour: Virtual worlds, real lives*. Hampshire, UK: Palgrave Macmillan. (ジョインソン A. N. 三浦麻子・畦地真太郎・田中敦(訳) (2004). インターネットにおける行動と心理—バーチャルと現実のはざままで 北大路書房)

(事典)

- 1) 三浦麻子 (2007). メディア・コミュニケーション 日本応用心理学会(編) 応用心理学事典 丸善 pp. 422-423.
- 2) 三浦麻子 (2009). 集団の効果性と創造性 日本社会心理学会(編) 社会心理学事典 丸善 pp. 334-335.
- 3) 三浦麻子 (2009). 相関モデルと因果モデル 日本社会心理学会(編) 社会心理学事典 丸善 pp. 516-517.

(寄稿)

- 1) 三浦麻子 (2009.11.27) ネットを「心理学」する:「つながりたい」をかなえる場 産経新聞(大阪本社版夕刊).

VI. 学位論文

三浦麻子 (2002). 集団の創造的活動に関する実験社会心理学研究 大阪大学大学院人間科学研究科博士学位論文.

V. 賞罰

人工知能学会全国大会(第20回)優秀賞(2006年8月)

【職務上の実績】

I. 資格、免許

専門社会調査士(第000387号) 2005年10月1日 取得

II. 特許等

出願中 1件

III. 獲得外部資金

(科学研究費補助金(研究代表者))

- 1) 若手研究(B) 平成15~16年度 集団創発性の発生メカニズムに関する実験的研究
- 2) 基盤研究(B) 平成17~19年度 インターネットにおける検索リテラシー行動の解明：心理学的手法を用いた学際的研究
- 3) 基盤研究(C) 平成20~22年度 インターネット上の知識共有コミュニティに関する実証的研究

(科学研究費補助金(研究分担者))

- 1) 基盤研究(C) 平成13~14年度 ネットワークRPGを使用した社会的共有認知研究(研究代表者：有馬淑子)
- 2) 特定領域研究(情報爆発IT基盤) 平成20年度 仮想空間を利用したガン患者サポートグループの構築(研究代表者：楠見孝)

(科研費以外の研究費(研究代表者))

- 1) 財団法人電気通信普及財団研究調査助成 平成9年度 電子ネットワークにおけるコミュニティ形成に関する実験的研究
- 2) 財団法人栢森情報科学振興財団研究助成 平成10年度 インターネットを利用したブレインストーミングに関する社会心理学的研究
- 3) 財団法人立石科学技術振興財団研究助成 平成15年度 同期的オンラインコミュニケーションにおける情報処理と対人認知に関する実験的研究
- 4) 財団法人電気通信普及財団研究調査助成 平成17年度 「ウェブログを書く」行動を規定する心理
- 5) 受託研究(日本電気株式会社) 平成19年度 対人コミュニケーションに関する基礎調査
- 6) 受託研究(株式会社博報堂) 平成19年度 オンラインディスカッションDISCUSプロジェクト
- 7) 受託研究(日本電気株式会社) 平成20年度 対人コミュニケーション基礎調査・分析
- 8) 学外共同研究(日本電気株式会社) 平成21年度 組織において創造性の高い働き方を実現するホワイトカラーとしての適性評価

(科研費以外の研究費(研究分担者))

- 1) 財団法人大川情報通信基金研究助成 平成14年度 オンライン・チャット・コミュニケーションに関する心理学的研究 (研究代表者: 篠原一光)
- 2) 株式会社KDDI研究所受託研究 平成18~20年度 通信におけるユーザ心理評価手法の研究 (研究代表者: 川浦康至)

IV. 学会及び社会における活動等

平成20年度 科学研究費補助金第1段審査委員

日本グループ・ダイナミクス学会 ホームページ担当幹事(2000年4月~2004年3月)
International Meeting of the Psychometric Society 2001 Local Organizing Committee(2001年月)
日本シミュレーション&ゲーミング学会 学会誌編集委員(2003年4月~2007年3月)
教育システム情報学会 和文誌編集委員(2003年10月~2007年9月)
The 5th International Workshop of Social Intelligence Design 2006 Chairperson(2006年3月)
日本グループダイナミクス学会 理事(2009年~)
日本社会心理学会 広報委員会 委員(2009年~)

V. Add hoc reviewer

心理学研究
社会心理学研究
実験社会心理学研究
認知科学
産業・組織心理学研究
人工知能学会論文誌
情報処理学会誌
電子情報通信学会誌
ヒューマンインタフェース学会論文誌
教育工学会誌
教育システム情報学会誌
Journal of Computer-Mediated Communication
Journal of Social and Personal Relationships